

AIを駆使して カメラでこんなにできる

ウィズコロナに対応

マスクコントロール



オムダテクノロジー
代表取締役
米倉 千貴氏

新型コロナウイルスの第二波のリスクに構えながら、経済活動が再開されつつある。そのなかで焦点となるのがウィズコロナ時代に対応したソリューションの組み込みだ。人工知能の研究開発や関連サービスの展開を行うオムダ(東京都港区)とオムダテクノロジーズ(東京都港区)は5月25日よりウィズコロナ時代のオフィスワークの維持・改善のソリューションとして、



▲マスク着用でも人物の特定が可能

カメラの役割が増えるかもしれない。従来の防犯カメラはもろもろのこと、昨今のコロナ禍においてはマスク着用確認などの役割も期待されている。現在の状況にマッチしたカメラを導入することで、徹底的なリスク管理が可能だ。

複数のAIを統合した人工知能ソリューションを展開している。このソリューションは主に6つのサービスから構成。「マスク着用確認」や「熱感知」マスクを着用している同一人物か否かを判別できる「マスク着用非着用時人物認識」。

緊急事態宣言解除と同時に実施された今回のソリューション。代表取締役の米倉千貴氏は「当社では個人のデジタルクローニングであるP.A.I.(パーソナル人工知能)の開発を主に行っている。AIに対する知見やノウハウを蓄積しています」と話す。ウィズコロナ時代にオフィスワークを継続するために必要なソリューションをマーケットに提供している。いち早いリリースへとつなげた。

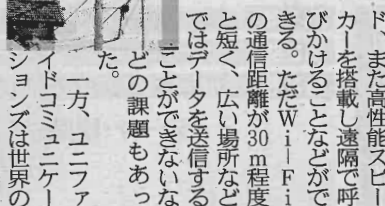
時宜を得ているため、需要は多い。問い合わせられる企業は、ひとつに分かれる。ひとつはオフィスでの感染防止対策を練る企業、そしてもうひとつがカメラを展開している企業だ。「PCとの連動が可能なカメラであれば、既存の製品でも当社が導入していることが、当社でもその組み合わせがマッチしたと評価している」と話す。

「将来的にはテクノロジーを利用して抗体を持つことができるか、AIの検知ができるAIを組み込んでいくことも可能です。『ウィズコロナ』の時代は長く続きます。すでに米国ではコロナと共生していくことが前提として、AIが模索されています。当社でもその組み合わせがマッチしたと評価している」と話す。

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

ユニファイドコミュニケーションズ

「アムスカム」は約2年前より展開。防犯カメラの機能としては、Wi-Fiを統合させた防犯カメラ商品を展開している。



「アムスカム」は約2年前より展開。防犯カメラの機能としては、Wi-Fiを統合させた防犯カメラ商品を展開している。

低コストで防犯性能向上を実現

ユニファイドコミュニケーションズ(東京都港区)は、防犯カメラ「アムスカム」を製造・展開する。Wi-Fi機能や録音モジュール、また高性能スピーカーを搭載し、遠隔で呼びかけることなどができる。ただWi-Fiの通信距離が30m程度と短く、広い場所などではデータを送信することができない。一方、ユニファイドコミュニケーションズは世界のWi-Fi機器の



市場で約5割を握るTP-LINK Technology (中国・深セン市)の日本法人、ティピーリンクジャパン(東京都港区)の公認システムインテグレーター。2018年よりティピーリンク製のネットワーク機器の販売などを行ってきた。ユニファイドコミュニケーションズ事業開発部/システム開発部/シニアマネージャーの本多章郎氏は「昨年出展した『不動産ソリューションフェア』で弊社の新規ビジネス担当者と現場の担当者様とが知り合いました」と話す。

「アムスカム」は約2年前より展開。防犯カメラの機能としては、Wi-Fiを統合させた防犯カメラ商品を展開している。



「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

「電源の配線などの工事は不要で、取り付けるだけで稼働する。価値向上につなげられる。一度、ビル防犯カメラの性能について再点検してみたい。」

不動産関連企業株価研究

文・千葉明

第69回

東京建物(8804)

本紙読者には、疑問は、目標の営業利益をかもしれない。1896年(明治29年)10月、旧安田財閥の創始者・故安田善次郎氏によって設立された日本最古の総合不動産会社はどこか。答えは東京建物(8804)だ。

初の割賦販売方式を不動産取引に適用した。いわば法人初となる不動産担保ローンの導入である。また早々に不動産鑑定事業とも取り組んでいる。1896年といえは日清戦争の直後。ある意味で経済勃興期。が法制度などは未整備の状態。不動産取引でも詐欺まがいが横行した。東京建物では「そうし」の状況下で、不動産取引の品質向上・安定化を目的に設立された」とする。

今、東京建物を取り上げたのは2024年12月期までの「新中期経営計画」が策定・始動されたため。19年12月期の中計で

営業利益が過去最高の524億円

重点戦略「大規模再開発の推進」など

「分譲マンション事業の更なる強化」「投資家向け物件売却の拡大」「仲介・ファンド・駐車場事業の強化」。

「分譲マンション事業の更なる強化」「投資家向け物件売却の拡大」「仲介・ファンド・駐車場事業の強化」。

「分譲マンション事業の更なる強化」「投資家向け物件売却の拡大」「仲介・ファンド・駐車場事業の強化」。